

新潟県中越大震災の復旧対策（民有林直轄地すべり防止事業）見学会を開催 ～地震から 20 年余りが経過した施工現場～

令和 7 年 10 月 31 日
中 越 森 林 管 理 署
上 越 森 林 管 理 署

1. 概要

中越大震災から 20 年余りが経過し、また、民有林直轄地すべり防止事業（※）終了から 10 年という節目の年に、関係機関の担当者等と共に、復旧・復興状況を確認しながら、復旧工事の施工箇所について当時の被災状況、エピソードや関係機関との調整状況等を振り返り、今後の大規模災害発生時における関係機関相互の連携強化に繋げることを目的として令和 7 年 10 月 20 日（月）に長岡市（旧山古志村を含む）、小千谷市の各復旧事業地の見学会を開催しました。

※（※）民有林直轄地すべり防止事業

民有林内の地すべり防止工事は、通常、都道府県が実施しますが、工事規模が大きい、高度な技術を要するなどの場合で、国土の保全上、特に重要であると認められるときは、都道府県の要請により国が直接工事を行います。これを直轄地すべり防止事業といいます。

中越地震の復旧要請については、地震が発生した 2004 年（平成 16 年）に林野庁へ新潟県から国直轄施行の要請があり、甚大な被害を受けた旧山古志村や旧栃尾市を含む長岡市と、小千谷市の 11 地区において復旧期間を 10 年、総工事費を 160 億円とした全体計画を策定し、2005 年度（平成 17 年度）から関東森林管理局中越森林管理署が主体となって事業を実施しました。

本事業は、平成 26 年度をもって終了、平成 27 年度に新潟県へ施設の移管を行い、最終的な総工事費は 120 億円となりました。

2. 当日の参加状況

当日は秋晴れに恵まれる中での開催となり、新潟県地域振興局（長岡、上越、糸魚川）、長岡警察署、糸魚川警察署、長岡市消防本部、長岡市、上越市、妙高市、糸魚川市、十日町市の関係機関から 23 名、関東森林管理局、県内の 3 森林管理署（下越、中越、上越）、支署（村上）から 27 名、計 50 名の参加により開催しました。（写真①、②）



① 開催式の様子



②現場での説明（貫地区）

3. 開催状況

長岡市越路支所を開催式の後 10 時 30 分に出発し、^{つなぎ}貫 施工地（長岡市濁沢町）→復興希望館
おらたる（長岡市山古志竹沢）→^{ならのき}榎木施工地（長岡市山古志南平）→^{こども}木籠集落（長岡市山古志木
籠）→^{よひさか}呼坂施工地（小千谷市小栗山）→^{うらのやま}浦ノ山施工地（小千谷市浦柄）→長岡市妙見町（妙見
防災センター）の順に巡りながら、当時の被災状況、エピソードや関係機関との調整状況等を織
り交ぜながら、復旧工事を実施した施工地では工事概要の説明を行いました。

バスの移動中には、復旧工事に着手した当時、被災地へのアクセス道路が制限されていたこと
から、早期の復興に向けて、新潟県長岡地域振興局、長岡警察署、国土交通省長岡国道事務所及
び湯沢砂防事務所、中越森林管理署、長岡市が参集し、通行規制に係る「連絡調整会議」が定期的
に開催され、残土処理場の選定が出来ず、各工事現場内で残土を処理するよう工事内容や施工
方法を工夫しながら施工したことを紹介しました。

上越市の職員からは、「復旧工事では関係機関が一丸となり、早急な復旧に尽力されていたこ
とを知り、有事の際には組織の枠を超えた連絡調整が必要なことだと感じた」などの感想があり
ました。



③現場での説明（呼坂地区）



④防災センターでの説明（消防）

4. 今後への備え

大規模災害がいつどこで発生するか予測は難しいですが、災害復旧に携わることになった時に
は初動が大切です。災害発生時には、関係する機関と組織の枠を超えて円滑な連携調整が行える
よう、普段から会議などを通じて、組織同士が顔の見える関係を構築しておくことが大切なこと
だと改めて感じています。

お問い合わせ先

関東森林管理局 上越森林管理署 次長

〒943-0172 新潟県上越市大道福田 555 番地

TEL: 025-524-2180 Mail: ks_jyouetsu_postmaster@maff.go.jp